

玉井小だより

平成28年1月28日
大玉村立玉井小学校
TEL (48) 3302
発行者 校長 佐藤一男

寒さに負けず、あいさつ運動

新しい年を迎え、児童会の運営委員会の子供たちが『みんなであいさつ日本一をめざそう!』と呼びかけ、全校生であいさつ運動に取り組んでいます。今週は運営委員と6年生と5年生が昇降口に立って、「心のこもったあいさつ」「相手の顔を見てあいさつすること」を呼びかけています。家の人にはもちろん、地域の方々にもきちんとあいさつできる子になってほしいと思っています。



『全校生で取り組むあいさつ運動』のスローガン

『あいての^{かお}顔を見て
こころ
心をこめて
あいさつしよう!』

児童作品展に向けて

サポートルームの子供たち9人が、大作に挑戦しています。毎年2月に開催される安達地区の児童作品展に向けて、大きな「シーラカンス」をつくっています。ペットボトルの蓋を集めることから始めて、その蓋をきれいに洗い、色ごとに分けます。それを下絵の上にボンドで貼っていくのです。本当に根気のいる作業を繰り返して、シーラカンスのかたちが見えてきました。

キャップ一つ一つに、子供たちの優しさが込められているようです。とてもきれいで優しい魚になるのではないかと考えています。楽しみです。



【きれいなシーラカンスです】

是非たくさんの方に作品展に足を運んでいただき、見ていただければと思っています。

『平成27年度 安達地区児童作品展』

- 期日：平成28年2月25日(木)～3月1日(火) ※2月29日(月)も開館
9：30～17：00(最終日は15：00終了)
- 場所：二本松市市民交流センター 市民ギャラリー
- 玉井小のサポート1, 2の子供たちは2月26日(金)に見学に行く予定です。

〈裏へ続きます〉

保護者の学習参加について

1月の4年生の算数の授業の様子です。保護者のみなさまに、子供たちの学習に参加していただいています。担任の指導に合わせて、子供たちの様子を見て、丸をつけたり、つまずいたところを教えたりしてくださいます。励ましの言葉をかけていただいたり、ほめていただいたりして、子供たちも意欲的に学習しています。

普段と違い、外部の方に見ていただいているので、子供たちは緊張感をもちつつも、張り切って学習に取り組んでいます。

ある男の子は「普段よりたくさんの方が来て、賑やかで楽しかったです。」と話していました。

また、授業に参加して下さった保護者の方々からは次のような感想をいただきました。



【どなたからでもお習いできる子供たちです】

- 「参観日に来られない人もいるので、こういう機会があるといいですね。」
- 「(学校でどう教えているか分かるので)お母さん方も、家に帰って、同じように教えられるのではないのでしょうか。」
- 「昔は先に教えて、後でわけを考えさせましたが、今は問題を出して、それを子供たちに考えさせて、解かせますね。教え方が変わってきているのがよく分かりました。」
- 「子供たちが素直に勉強していることも、そして先生方が本当に一生懸命やってくださっていることもよく分かりました。」
- 「以前に学習発表会の練習のお手伝いに来ているので、子供たちには『なんているの?』といった感じはなくて、当たり前のように、丸をつけてもらいに来ます。」

実際に普段の授業を見ていただくことによって、参加していただいた方々に、子供たちがどのように習っていて、どこでつまずいたり、間違ったりするのかも分かっていたのではないのでしょうか。

教育は保護者のみなさまと先生との信頼関係の上に成り立っています。学校においていただき、子供たちの学びの様子を直接見ていただくことによって、保護者のみなさまと先生方が同じ思いで、心を一つにして子供たちの教育に当たることができるのではないかと考えています。

また、子供たちは将来、社会に出れば、年齢や考え方の異なるたくさんの方々とかかわり、一緒に仕事をしていかなければなりません。今から様々な方々とかかわることを学んでおくことは、とても大切だと考えます。



【人とかかわりの中で学ぶ】